

各位

上場会社名	黒谷株式会社
代表者	代表取締役社長 黒谷 純久
(コード番号)	3168)
問合せ先責任者	代表取締役副社長 井上 亮一
(TEL)	0766-84-0001)

平成27年8月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成26年10月10日に公表いたしました平成27年8月期第2四半期累計期間(平成26年9月1日～平成27年2月28日)の業績予想と実績値に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成26年10月10日に公表いたしました平成27年8月期(平成26年9月1日～平成27年8月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年8月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成26年9月1日～平成27年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,081	214	161	103	14.48
今回修正予想(B)	27,525	123	53	34	4.79
増減額(B-A)	2,443	△91	△107	△69	
増減率(%)	9.7	△42.5	△66.7	△66.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年8月期第2四半期)	25,811	56	53	98	13.80

平成27年8月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年9月1日～平成27年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	49,971	398	294	188	26.29
今回修正予想(B)	54,343	317	221	134	18.70
増減額(B-A)	4,371	△80	△72	△54	
増減率(%)	8.7	△20.3	△24.6	△28.9	
(ご参考)前期実績 (平成26年8月期)	51,000	84	46	97	13.64

修正の理由

(1) 第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異について

当第2四半期累計期間における世界経済は、米国経済は順調に推移したものの、欧州経済は、ウクライナやギリシャ情勢など地政学リスクの高まりから停滞感が強まり、中国経済も不動産バブル等の対策から成長が鈍化したため、総じて先行き不透明感が強まりました。

また、我が国においても、円安・株高傾向は続いているものの、踊り場を迎えており、やや成長に翳りが見え始めてきました。

当第2四半期累計期間における当社を取り巻く環境は、このような世界経済・国内経済の動向から、当社の主力取扱商品である銅価格は、ロンドン金属取引所3か月物価格で平成21年以来の安値を付け、加えて国内原材料の需給バランスによる利鞘も厳しい状況となったことから当社業績は売上高275億25百万円(前年同四半期比6.6%増)、営業利益1億23百万円(前年同四半期比117.9%増)、経常利益53百万円(前年同四半期比0.7%増)、四半期純利益34百万円(前年同四半期比65.3%減)となりました。

(2) 通期業績予想の修正

今後も米国経済の堅調さ、欧州経済の停滞、中国経済の減速化の流れのなかで、銅の国際価格の低迷及び国内スクラップの需給悪化による利鞘の縮小は続くと思われます。当社の主力製品であるスクリー用原材料は、シェールガス革命によるLNG(液化天然ガス)船の需要が増加してきていることから明るい兆しは出てきているものの、下半期につきましても当社を取り巻く環境は厳しい状況が継続すると思われます。

以上から、通期売上高は、当初予想比43億71百万円(8.7%)増の543億43百万円、営業利益は同80百万円(20.3%)減の3億17百万円、経常利益は同72百万円(24.6%)減の2億21百万円、当期純利益は同54百万円(28.9%)減の1億34百万円と予想を修正させていただきました。

(注) 本資料に掲載しております業績予想等につきましては、現時点で得られました情報に基づき算定したものでありますので、実際の業績は今後様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

以 上